

動労連帯軸に 11・2 総決起を誓う



←安倍打倒・原発再稼働反対（大宮）

9月27日、埼玉で戦争と民営化に反対する労働者集会を50人の結集でかちとった。国鉄現場労働者や福島から埼玉に避難している被災者が多数参加して、「動労総連合を全国へ」の闘いを推し進めるものとして闘いとられた。

冒頭、動労連帯高崎の漆原芳郎副委員長が、健康を回復して参加している和田山繁委員長を紹介し、主催者あいさつを行った。

保育労働者の歌唱指導で星野さん解放の歌「ソリダリティ」を参加者全員で歌い、越谷星野絵画展実行委員会、NAZENさいたま、群馬合同労組から連帯のあいさつを受けた。

越谷星野絵画展実行委員会からは、いわき市久ノ浜から埼玉に避難している原発被災者があいさつに立ち、星野救援運動との出会いや、原発反対、安倍打倒の強烈な思いを語った。

全国労組交流センター常任運営委員・動労水戸副委員長の辻川慎一さんが講演を行った。辻川さんは3・11後の動労水戸の闘いの背後で問われた労働者一人ひとりの決断や歴史選択に触れながら次のよ

うに話された。

「福島の被災者や避難者は、3・11とその後の避難のことを昨日のこのように覚えている。その被災者が金で分断され、地域で分断されている。これが資本家・政府のやり方だ。どうすればひとつになれるのか。生き抜いて、原発を持ってきた政府や資本家と闘うしかない」
「その思いで、動労水戸は、JR常磐線の竜田延伸と闘った。子どもを集めてポケモントレインを仕立てて、福島第一原発の近くを走らせるというので、絶対反対でストをやった。竜田延伸試運転反対のストもやった。5月10日、いわき駅前で街宣をやったら、仮設の人がいっぱい来てくれ“帰町の話は何も説明されていない“あんたたちの言うとおりで”と言ってくれた。檜葉町は、帰町宣言をできなかった。この闘いで、労働組合が腹を固めて闘うならすべての人びとをひとつにできると確信した」

「なぜ、動労水戸がそこまで闘えたのか。国鉄分割・民営化という国策に闘い抜けたからです。社会党・共産党は“いざとなればやる”と言いながら結局闘わなかった。闘う労働組合を取り戻すならすべての人が団結して闘うことができる。それが原発を廃炉に追い込む力です。そうした力を結集する闘いとして、11・2労働者集会に総結集して下さい」(裏)



▲主催挨拶にたつ漆原副委員長

10月10日

No123

国鉄高崎動力車連帯労働組合

(連絡先：048-722-7107 fax 共)

安倍たおそう群馬集会で和田山委員長訴える



▲「奇跡的な回復」で演壇から訴える和田山委員長

「動労総連合を全国に」に向かって動労連帯高崎労組と群馬の労組が、28日に呼びかけた、「安倍たおそう9・28ぐんま労働者集会」（前橋）が、35人の参加で意気高くかちとられました。

集会のはじめに参加者全員で星野さん解放の歌「ソリダリティ」を合唱しました。これで会場は一気に和やかに。

9・11 郡山闘争のビデオ上映と一体で、集会の基調が群馬合同労組の清水彰二書記長から提起されました。JR関連企業での組織化の実践がすでに始まっていることを報告しながら、「命と安全を守る労働組合運動の復権のために、動労連帯高崎の組織拡大を推進する国鉄闘争全国運動・群馬を結成しよう」と提起しました。満場の拍手で、来春本結成を目指し、準備会を結成することを宣言しました。動労連帯高崎・和田山繁委員長が登壇しました。1年8ヶ月前に委員長を突然襲った大病を知る者は目を潤ませながら聴き入りました。和田山委員長は、大手術の様子なども明るく話しながら、「家族と労組、地域の仲間に支えられて、主治医から“奇跡としか言えない回復”と

言われるところまで来ました」

「おれは、中野洋・動労千葉前委員長から、“和田山、日比谷野音楽集に1万集まったら、日本の労働組合全体が変わるんだ”と言われたことが忘れられません。どうか、今日お集まりの皆さんが、万難を排して11・2に職場、地域から集めて欲しい」と訴えられました。

化学一般昭和高分子労組・大谷和昭前委員長、群馬合同労組の青年労働者の闘争報告、須永副委員長からの国際連帯報告を受けました。NAZENぐんまと、群馬星野文昭さんの再審を実現する会の伊藤成雄さん、田中正造を引き継ぎ重厚な取り組みを継続している大先輩からの連帯のアピールを受けました。

すべての発言を受けて、群馬合同労組・佐藤敦委員長から「今日を新たな出発点に11・2大結集と“動労総連合を全国に”を実現しよう」と、行動方針が提起され、「団結がんばろう」を唱和しました。

（表からの続き）休憩の後、国鉄労働者が解雇撤回10万筆署名の取り組みについて報告した。JAM神奈川ジェコー労組と、同じく行田分会の仲間から派遣法体制と闘い抜く決意が述べられ、合同労組からは未払い残業代を払わせる闘いの実践や職場環境是正にむけて会社と交渉を始める決意、自治体労働者からは民営化攻撃と闘う決意が述べられた。

さらに、JR職場で働く労働者、全通労働者から闘いの決意が述べられた。最後に、埼玉労組交流センター代表が、11・2労働者集に総結集しようと訴え、熱気あふれる集を閉じた。

その後の交流会でも、熱い決意がお互いに語られ、階級的労働運動を取り戻すために11・2大結集をかちとる決意を固めた。

11・2 全国労働者 総決起集会

11月2日（日）正午
日比谷野外音楽堂

呼びかけ/動労千葉・
関西生コン・港合同